



臨床ストレス応答学会

The Biomedical Society for Stress Response

BSSR NEWS LETTER No. 10

2015. 8. 10

第9回臨床ストレス応答学会大会開催報告

第9回大会長 鶴殿 平一郎 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 免疫学)

去る平成26年11月1日(土)～2日(日)、第9回臨床ストレス応答学会を岡山大学 地域医療人育成センターおかもやま(マスカットキューブ)にて開催させていただきました。学内外の多数の方々のご協力の下、全国より80名を超える会員をお迎えし、各演題について切れ間無く活発な討議が行われました。

お蔭様で参加者の皆様よりご好評をいただき、成功裏に大会を終えることができました。関係者の皆様方に改めて心より御礼申し上げます。

大会の目玉としては、特別講演として米国より Dr. Zihai Li をお招きし、「Integrating UPR, inflammation and cancer immunity」と題して、小胞体内タンパク質の品質管理機構に重要な分子の一つである grp94 と免疫機能の関係について初日にお話いただき、2日目は田中啓二先生に「オートファジーの破綻によるミトコンドリアストレスと肝臓・神経変性疾患」と題して、プロテアソームと並ぶ細胞質内タンパク質分解系であるオートファジーと、その異常が引き起こす疾患の関わりについて、分子メカニズムに焦点を当てた研究をご紹介します。また、2つのシンポジウム「オルガネラストレスとエピジェネティクス」、「ストレスと免疫・癌・炎症」では、計10名のシンポジストの先生方に最新の研究成果をご発表いただきました。その他、新しい試みとして、特に臨床研究の成果発表の場として Bridges to Clinics と題したセッションを一般演題発表の中に創設しました。基礎研究の成果を臨床応用へ、また臨床で得られた知見を基礎研究の立場から解析する、といった相互の連携がより一層進むよう今後とも期待しております。

一般演題の口頭発表に加え、若手研究者には自由討論形式でポスター発表もお願いしました。口頭発表とはまた異なるリラックスした雰囲気ながらも、そこかしこで熱い討議が時間一杯まで行われました。この雰囲気こそは誠に好ましいものであり、本大会の目的の大部分を達成できたようにも感じました。発表を厳正に審査した上で、5名の方に若手研究奨励賞を授与いたしました。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、ご寄付をいただきました企業・財団の皆様、学会事務局の札幌医科大学 鳥越俊彦先生、大会運営に奔走してくれた教室員の皆様にご心より感謝申し上げます。

The Biomedical Society for Stress Response

Dr. Zihai Li



田中啓二 先生



ポスター発表の様子



大会長鶴殿先生



口演の様子



座長の中井先生、森先生



臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞

2014年度第3回若手研究奨励賞は、養王田正文選考委員長をはじめとする4名の選考委員の厳正な審査のもと、以下の5名の先生が選ばれ、懇親会において授賞式が行われました。

榮川 伸吾（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科免疫学分野）

「2型糖尿病薬メトホルミンの腫瘍局所におけるCD8 T細胞疲弊解除」

倉橋 清衛（徳島大学 疾患プロテオゲノム研究センター生体機能分野）

「飽和脂肪酸は膵β細胞の小胞体膜の組成を変化させ、PERK経路の活性化による翻訳抑制を介してインスリン分泌を低下させる」

及川 大輔（群馬大学 生体調節研究所分子細胞制御分野）

「OptineurinによるNF-κBシグナル制御の細胞機構と疾患」

難波 卓司（高知大学 教育研究部総合科学系複合領域科学部門分子薬理学分野）

「p53の機能喪失はIRE1/XBP1経路の活性化を誘導し、癌細胞における小胞体の機能を亢進させる。」

田中 努（札幌医科大学 医学部病理学第一講座）

「腫瘍に高発現する酸化酵素ER01-αは、腫瘍増殖環境を整える」

2014年度 若手研究奨励賞選考委員

養王田 正文（東京農工大学）選考委員長

横田 伸一（札幌医科大学）

樋口 京一（信州大学）

藤田 潤（京都大学）

第 10 回臨床ストレス応答学会大会のご案内

会員の皆様に於かれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、第 10 回臨床ストレス応答学会大会の大会長を拝命いたしました。記念となる第 10 回大会のお世話をさせていただくことを光栄に思っています。全国のストレス応答の分子生物学、細胞生物学、臨床医学の研究者、および医師、医療・保健関係者が一堂に会し、最近の進歩と展望について議論する有意義な場になるように尽力いたします。

昨年、本学会の主要なメンバーである森和俊京都大学大学院教授がアルバート・ラスカー基礎医学賞を受賞されました。本大会では、その受賞を記念し、森先生と 2008 年にラスカー・ドゥベキー臨床医学研究賞を受賞された遠藤章東京農工大学特別栄誉教授の特別講演を企画しております。また、sHsp などのシャペロン研究で優れた研究をされている Groningen 大学の Kampinga 先生も招聘いたします。本年度は RNA に焦点を当て、シンポジウム「RNA ストレスとシャペロン療法」で 5 名の先生にご講演いただく他、ランチョンセミナーでは東京大学の秋光信佳先生に non-coding RNA についてご講演いただきます。従来とは少し異なる視点で臨床ストレス応答について考える機会になると考えています。昨年度と同様に、short talks: bridges to clinics を企画し、積極的に臨床研究を紹介する機会を作ります。また、多くの若い研究者の参加を期待しております。5 名の方に若手研究奨励賞も授与いたしますので、是非チャンスを掴んでください。

会場となる東京農工大学 140 周年記念会館エリプスは、NEDO の「次世代省エネルギー等建築システム実証事業」の支援の下で建築された複数建物連携によるキャンパス内建物群の省エネルギー運用する最先端省エネルギー施設です。最先端の施設で最先端の研究について議論することを楽しみにしております。

平成 27 年 8 月吉日

第 10 回臨床ストレス応答学会大会長
東京農工大学大学院工学研究院 教授
養王田 正文

会期：2015年 11月 6日（金）、7日（土）

会場：東京農工大学 140周年記念会館（エリプス）3F 多目的ホール

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16

TEL&FAX: 042-388-7764

<http://tuat-ellipse.jp>

39歳以下の若手研究者による優れた研究を表彰し
奨励する目的で、

「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を
選考いたします。

詳細は演題申込方法をご覧ください。

また、下記の特別講演3題、シンポジウム、
ランチョンセミナーを予定しています。



特別講演

- 11月6日 遠藤 章 東京農工大学 特別荣誉教授
(2008年 ラスカー・ドゥベキー臨床医学研究賞受賞)
森 和俊 京都大学大学院 教授
(2014年 アルバート・ラスカー基礎医学研究賞受賞)
- 11月7日 Professor Harm H. Kampinga
(University of Groningen, The Netherlands)

シンポジウム

- 11月7日 「RNA ストレスとシャペロン療法」

一般演題募集： 演題応募締切：2015年9月10日

演題申し込み要領は学会ホームページをご覧ください。

<http://web.sapmed.ac.jp/bssr/>

大会事務局:

第10回臨床ストレス応答学会大会事務局
東京都小金井市中町2-14-16
東京農工大学大学院工学府生命工学専攻 養王田研究室
Tel: 042-388-7479, Fax: 042-388-7479
E-mail: yohda@cc.tuat.ac.jp

学会事務局

札幌医科大学医学部病理学第一講座内
Tel&Fax: 011-643-2310
E-mail: BSSR@sapmed.ac.jp

大会参加費： 一般 5000円、学生 2000円

事前参加申込方法：

参加登録は大会ホームページから登録してください。

事前参加申込締切：2015年10月10日

演題申込方法：

本学会の一般演題発表者としてのお申込みは、一人一題に限られます。ただし、他の演題の共著者になることは差し支えありません。また、発表者は本学会員に限ります。申込みには事前参加登録及び参加費の振込みが必要です。

演題申し込み要領は下記大会ホームページをご覧ください。

<http://web.sapmed.ac.jp/bssr/>

演題申込締切：2015年9月10日

若手研究奨励賞について：

臨床ストレス応答学会では、若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を設けます。応募資格・応募方法・選考方法・授賞式に関する詳細は下記の通りです。

●**応募資格：** 第10回臨床ストレス応答学会大会当日(2015年11月6日)において、39歳以下の若手研究者。

●**応募方法：** 演題応募時、抄録ファイルに「若手研究奨励賞に応募する」と記載すること。

●**選考方法：** 若手奨励賞への応募演題は大会1日目(11月6日)に口演およびポスター形式でご発表いただきます。抄録と発表内容を4名の選考委員が審査し、5名程度の受賞者を選出します。

●**授賞式** 大会1日目(11月6日)の懇親会において、大会長より賞状並びに副賞(賞金)が授与されます。

The Biomedical Society for Stress Response

大会実行委員：

委員長： 養王田 正文（東京農工大学大学院工学府）

委員：

青江 知彦（東京女子医科大学附属八千代医療センター麻酔科）
鵜殿 平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻）
伊藤 英晃（秋田大学工学資源学部）
中井 彰（山口大学大学院医学系研究科医化学分野）
永井 義隆（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）
樋口 京一（信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学）
鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部病理学第一講座）
徳永 文稔（群馬大学生体調節研究所分子細胞制御分野）
長谷川 節雄（株式会社ファルマシユプール）
内田 一郎（大阪大学）
野口 恵一（東京農工大学）

大会事務局：

第10回臨床ストレス応答学会大会事務局
東京都小金井市中町2-14-16
東京農工大学大学院工学府生命工学専攻 養王田研究室
Tel: 042-388-7479, Fax: 042-388-7479
E-mail: yohda@cc.tuat.ac.jp

The Biomedical Society for Stress Response

学会役員・幹事・評議員

学会役員（平成26年4月1日～平成28年3月31日）

会長	鵜殿 平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授）
副会長	樋口 京一（信州大学大学院医学研究科 教授）
	鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部 准教授）
総務	中井 彰（山口大学大学院医学系研究科 教授）
会計	大塚 健三（中部大学応用生物学部 教授）
監事	六反 一仁（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 教授）
企画	養王田 正文（東京農工大学大学院工学府 教授）

アドバイザー	永田 和宏（京都産業大学総合生命科学部 教授）
	佐藤 昇志（札幌医科大学医学部 名誉教授）
	野村 馨（大月市立中央病院）
	田中 啓二（東京都臨床医学総合研究所）
	伊藤 英晃（秋田大学大学院工学資源学研究科 教授）

学会幹事

青江 知彦	東京女子医科大学附属八千代医療センター麻酔科
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医歯薬保健学研究院基礎生命科学部門分子細胞情報学
鵜殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
大塚 健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学疾患ゲノム研究センター生体機能分野
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
佐藤 昇志	札幌医科大学
佐野 元昭	慶應義塾大学医学部循環器内科
柴田 亮行	東京女子医科大学第一病理
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第四部
永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
藤田 潤	京都大学医学研究科分子病診療学
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標的学講座
馬嶋 秀行	鹿児島大学歯学総合研究科腫瘍学講座顎顔面放射線学

The Biomedical Society for Stress Response

松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
六反 一仁	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学的研究室

以上 34 名（五十音順）

学会評議員

青江 知彦	東京女子医科大学附属八千代医療センター麻酔科
秋吉 一成	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻生体機能高分子分野
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医歯薬保健学研究院基礎生命科学部門分子細胞情報学
岩坂 日出男	大分大学医学部脳・神経機能統御講座麻酔学
岩脇 隆夫	群馬大学・先端科学研究指導者育成ユニット
鶴殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
大塚 健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学疾患ゲノム研究センター生体機能分野
小山田 正人	藤女子大学人間生活学部食物栄養学科
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
木村 洋子	静岡大学大学院農学研究科応用生物化学専攻
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
桑田 一夫	岐阜大学人獣感染防御研究センター
小亀 浩市	国立循環器病研究センター分子病態部
後藤 知己	熊本大学大学院生命科学研究部医学系分子遺伝学分野
小林 正伸	北海道医療大学看護福祉学部生命基礎科学講座
小安 重夫	独立行政法人理化学研究所統合生命医科学研究センター
笹栗 靖之	産業医科大学第二病理学
佐藤 昇志	札幌医科大学
佐野 元昭	慶應義塾大学医学部循環器内科
佐原 弘益	麻布大学獣医学部
柴田 亮行	東京女子医科大学第一病理
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
田中 啓二	東京都臨床医学総合研究所
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
田村 裕	千葉大学大学院医学研究院
千葉 進	札幌山の上病院神経内科臨床脳神経研究施設
徳永 文稔	群馬大学生体調節研究所分子細胞制御分野
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座

The Biomedical Society for Stress Response

内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第四部
永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西田 憲生	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
久枝 一	群馬大学大学院医学系研究科国際寄生虫学分野
平田 公一	JR 札幌病院外科
藤木 幸夫	九州大学大学院理学研究院生物科学部門
藤田 潤	京都大学医学研究科分子病診療学
古橋 真人	札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標的学講座
馬嶋 秀行	鹿児島大学医歯学総合研究科腫瘍学講座顎顔面放射線学
増本 純也	愛媛大学大学院医学系研究科ゲノム病理学分野
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
三浦 哲嗣	札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山田 健人	慶應義塾大学医学部病理学教室
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
吉田 賢右	京都産業大学工学部生物工学科
吉森 保	大阪大学微生物病研究所
六反 一仁	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室
和田 郁夫	福島県立医科大学医学部附属生体情報伝達研究所細胞科学研究部門

以上62名（五十音順）

The Biomedical Society for Stress Response

Cell Stress Society International からのお知らせ

**7th International Congress on Stress Responses in Biology & Medicine
Huangshan City (黄山市), China
September 15-19, 2015**

The Congress theme:
Stress and Health: molecule to human

Organizers:

Professors Lingjia Qian, Tangchun Wu, Robert M. Tanguay, Lawrence E. Hightower

Tentative Program

SEPTEMBER 15

Registration

SEPTEMBER 16

Keynote Speakers:

He Fu-Chu, Beijing Proteome Research Center

E. R. (Ron) de Kloet, Leiden University Medical Center

Kazuhiro Nagata, Kyoto Sangyo University

Presentation:

Ariel Louwrier, President, StressMarq Biosciences Inc.

CSSI Medallion Recipient:

Kazutoshi Mori (2015 Lasker Award), Kyoto University

S1. Stress Biology: Physiological and Psychological Response

S2. Stress and Brain Networks

SEPTEMBER 17

S3. Transcription Under Stress

S4. Activating Stress Responses To Prevent and Treat Major Diseases

S5. Stress Granules

S6. Stress and Exercise

SEPTEMBER 18

S7. Small Heat Shock Proteins: Structure, Regulation, and Functions

S8. Stress and Women's Health

S9. Chaperones and Mitochondrial Homeostasis

S10. Stress and Immune Regulation

SEPTEMBER 19

S11. Stress and Diseases

事務局からの連絡

入会手続き

学会ホームページから「入会申込書」をコピーし、必要事項をご記入の上、BSSR 事務局まで FAX(011-643-2310)または電子メール(BSSR@sapmed.ac.jp)にてお送り下さい。

年会費： 一般会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、企業賛助会員 50,000 円
以下の郵便口座へお振込ください。

加入者名：臨床ストレス応答学会

口座番号：02730-3-64452

大会ポスターについて

第 10 回臨床ストレス応答学会大会のポスターを事務局に用意しております。できるだけ多くの基礎・臨床研究者に参加していただくため、ポスターを配布して宣伝していただきますようお願い申し上げます。事務局まで必要枚数をお知らせ下さい。

BSSR 事務局

〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目
札幌医科大学医学部病理学第一講座内 鳥越俊彦
TEL: 011-611-2111 (内線 2691), FAX: 011-643-2310
E-mail: BSSR@sapmed.ac.jp
ホームページ : <http://web.sapmed.ac.jp/bssr/>